

施策分析シート（平成22年度）

No1

施策名	余暇を利用した学習機会の提供	施策No	04-08	部課名	教育委員会事務局社会教育課		
				課長名	佐藤 泰祥	内線	3350
関連部課名	教育委員会事務局教育総務課、学務課、指導室						
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]					
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]					
目的	放課後や土・日曜日、長期休業期間に、既存施設を活用し児童生徒の学習や運動の機会を提供する。						
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (28年度)	
	校庭利用年間延べ人数	28,699	29,754	30,045	32,000	35,000	目標実施回数×実施一回あたりの目標利用人数
	小学校科学教育センター登録率	4.7%	4.4%	4.0%	4.0%	4.5%	対象児童（小6）に占める割合
中学校科学教育センター登録率	1.8%	1.4%	1.6%	1.6%	1.7%	対象児童（中1～3）に占める割合	
現状と課題（指標分析）	<p>校庭など既存の教育施設を活用して、児童生徒の学習や運動の場を提供してきており、今後も引き続き実施していく必要がある。</p> <p>校庭開放や校庭利用事業は、児童生徒の安全確保と場所の提供のため、区民や保護者の協力を得て事業運営しているが、区民参加を一層進めていく必要がある。</p>						
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>引き続き、区内における広場や空き地の状況を踏まえ、既存の教育施設を有効に活用するとともに、利用者数の増加を図るため、地域や保護者の協力を得ながら、事業内容の吟味と運営方法の改善を検討していく必要がある。</p>						

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	既存施設を有効活用した本施策は区民ニーズも高く、運動・遊びの場が十分にあるとはいえない区内において、子どもの健康と体力の向上に寄与する施策である。

施策分析シート（平成22年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		20年度	21年度	前年度 設定	今年度 設定	
週五日制校庭開放事業	12-01-16	714	702	継続	継続	校庭利用の実態が中学校生徒の自主的な利用が減り、部活動等が中心となっているため、来年度の事業について見直しを行っていく。
校庭利用運営費	12-04-04	4,548	4,388	継続	継続	児童に安全な遊び場を提供している。
科学教育事業運営	12-06-50	872	953	推進	継続	多様な科学教育の実施は不可欠であるが、参加者数の増加に向けた改善策を検討すべきである。
合 計		6,134	6,043			